# 令和４年度第２回千葉市青少年センター運営審議会議事録（議事要旨）

１ 日　時

令和５年２月２８日（火）　１０：００～１１：３０

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 講習室

３ 出席者

（委　員）

黒川会長、根本副会長、吉岡委員、坂本委員、西田委員、藤田委員、柳原委員、升川委員、岩瀬委員

（事務局）

土肥生涯学習振興課課長補佐兼所長、木澤主催事業主任指導員、小滝主査、澤田技師

４ 議　題

（１）令和４年度事業報告（１月末時点）について

（２）令和５年度施設運営方針及び重点目標について

（３）令和５年度事業計画（案）について

①主催事業について

②維持管理業務予定について

（４）その他

５ 議事の概要

（１）令和４年度事業報告（１月末時点）について

施設の利用状況、主催事業の実施状況について報告した。

（２）令和５年度施設運営方針及び重点目標について

施設運営方針及び重点目標について、委員より修正提案があり、保留となったが、後日、事務局より修正案を提案し、承認された。

（３）令和５年度事業計画（案）について

主催事業の実施計画、施設の維持管理業務予定について説明し、承認された。

（４）その他

議事録の確定方法について承認された。

６　会議経過

（１）令和４年度事業報告（１月末時点）について

木澤主催事業主任指導員より、資料１～９ページ及びパワーポイントの資料を用いて、施設の概要、新型コロナウイルス感染症対策、施設利用状況、主催事業の実施状況、中学生職場体験他の受入れ事業について、説明した。

（黒川会長）

ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局からのご報告につきまして、ご意見ご質問がございます方は、挙手をいただければと思います。

（升川委員）

新型コロナウイルス感染対策を行いながら、施設利用、主催事業について、このような数字がでてきたことはわかりやすいし、求めているニーズがあることがわかりました。ありがとうございました。

利用回数、稼働率が回復傾向にあるとのことですが、どのような人に利用してもらいたいのかをはっきりさせないと、少なかった多かったで、一喜一憂してしまうと思います。今回、いろいろな事業を開催し、子供たちや一般の方からアンケートも取られたようですが、手ごたえはどうだったのか、教えてください。

（木澤主催事業主任指導員）

「ゆめチャレンジ」に関しては、高校生の参加が少なかったので、高校生の出演団体を増やしたいと思います。演劇だけでなく、ダンスサークルなどにも参加してもらい、青少年の参加を増やしたいと考えています。

小学生の参加者は、以前に比べて少なくなりました。１月は、まだまだコロナやインフルエンザの影響があったためと考えます。かつては隣接する白旗エリア子どもルームの子どもたちが訪れていましたが、子どもルームが宮崎小学校に移転したため、こちらまで見に来るのが難しくなったためと考えられます。小学生の参加者も増やしたいと考えています。

当施設は青少年センターですので、主に青少年の層をターゲットに、参加者を増やしたいと思います。

今回は、近隣の小学校にチラシを配布いたしましたが、配布するエリアを広げ、見に来る方が増えると、駐車場が足りなくなるというジレンマがあります。

（升川委員）

ゆめチャレンジ以外の主催事業についてはどうでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）

小中学生を対象とした「ときめきサタディ」は、応募者も多く、倍率も高かった

ので、このまま継続していきたいと思います。

16 歳以上の一般の方を対象とした「わくわくカレッジ」は、５０代、６０代の参加者が多い傾向にあります。しかし、高校生・大学生に参加してもらえるような講座が、現在、見当たらない状況です。

以前、「就職活動のためのメイクアップ講座」を開催いたしましたが、参加者は少なかったです。いずれにしても、「ときめきサタディ」で、小中学生を対象に参加者を増やしたいと考えています。

また、普段の施設利用でも、青少年により多く利用していただきたいと思います。

今年度は、淑徳大学に PR ポスターを掲示したり、蘇我中、松ケ丘中の吹奏楽部に個人練習に利用を促したところ、反応がありました。

これは、インターンシップの学生や中堅職員研修の研修生から出してもらったアイデアです。

（升川委員）

ありがとうございました。

（黒川会長）

その他、ご意見ご質問がございます方は、挙手をいいただければと思います。

（柳原委員）

ご説明いただきありがとうございました。

イベント以外での、施設の利用者を増やしていきたいということであれば、千葉青年会議所でのご紹介、SNS 等での発信をできれば協力したい。

それにあたり、一点教えていただきたいのは、利用案内の利用区分は、３０歳以上の一般団体と、３０歳未満の青少年団体で分かれていますが、例えば団体の中に両方いる場合には、どちらに該当するのでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）

団体の場合には、構成人数の過半数が、３０歳以上か３０歳未満かで、一般団体か青少年団体かを判断いたします。また、その団体の性質を考慮し、青少年事業を行っている団体は青少年団体としております。

（柳原委員）

それは、団体そのものの性質によるものでしょうか、それとも、こちらの施設を利用する時のイベントごとの性質によるのでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）

両方の要素をもとに、総合的に判断しています。

また、青少年団体と一般団体では、施設予約の期間が異なっています。

（柳原委員）
ありがとうございました。

（木澤主催事業主任指導員）
委員の皆様の所属する団体でも、ぜひ、当センターをご利用ください。

（黒川会長）
その他、ご意見ご質問のある委員の方、いらっしゃいますでしょうか。
では質問はないようですので次の議題に進みます。議題（１）令和４年度事業報告１月末時点につきまして、ご報告ありがとうございました。

続きまして、議題（２）令和５年度施設運営方針及び重点目標について、及び議題（３）令和５年度事業計画（案）について、こちらは審議事項となります。
事務局よりお願いいたします。

（２）令和５年度施設運営方針及び重点目標について
（３）令和５年度事業計画（案）について
木澤主催事業主任指導員より、資料１０ページ～１１ページ、施設運営方針及び重点目標の説明の後、続けて、資料１２～１３ページ、令和５年度事業計画（案）について説明した。
澤田技師より、資料１４ページ、維持管理業務予定について説明した。

（黒川会長）
ありがとうございました。議題（２）、（３）につきまして、ご説明をいただきましたが、まず、議題（２）につきまして、ただいまの事務局からのご説明につきまして、ご意見ご質問ございましたら、ご発言をお願いいたします。

（黒川会長）
令和４年度と抜本的には変わらず、これまでの施設運営方針と重点目標を継続していくというご提案について、ご質問はいかがでしょうか。

（升川委員）
こちらのセンターにはWi-Fiが設置されていないと、昨年７月の運営審議会でも伺いましたが、施設運営の重点目標の中には「社会の変化や青少年のニーズに応える～」と謳っているので、なぜWi-Fiを設置することができないのか、毎回の審議会でその話がでるのであれば、そこをはっきりしておかないと、ただ記載してある

だけになってしまうと思いますが、その点はいかがでしょうか。

（根本副会長）
　ご存じのように、小中学生にはギガタブが配付されていて、児童生徒が持ち歩くようになりました。家庭学習に使えるほか、学校によっては授業の様子を撮影し、家に帰ってからオンラインでみるなど、いろいろな使い方をいま模索しております。
　例えば、Wi-Fi が使えるのであれば、ここで自習ができるなど、すごく利用範囲が広がるのではないでしょうか。日頃の施設利用者を増やす一つの手立てとして、Wi-Fi の設置は価値がある部分ではないかと思います。
　また、いろいろな理由で、学校に来ることができない子ども達への支援、居場所づくり、拠点づくりとしても、Wi-Fi の設置ができれば有効ではないでしょうか。
　設備環境を今の子供たちの状況に合わせて、進めていただけるとありがたいと思います。

（黒川委員）
　ありがとうございました。

（土肥所長）
　Wi-Fi の設置の件につきまして、前回の運営審議会の中でご意見をいただきましたことは、十分承知しております。
　また、生涯学習振興課としても、生涯学習センター、公民館等の生涯学習施設に Wi-Fi が設置されていて、ニーズがどれほどあるのかについても把握していると考えております。
　一方、こちらの施設自体は、建築後、間もなく５０年を迎えます。
　現在、市として、今後、当センターをどうしていくのか、建物をどうするのか、青少年センターとしての機能をどうするのか、生涯学習振興課で方向性を検討しております。全体的に、ハードとソフトの両面から、この施設をどうするのかという方向性を検討し決めていくなかで、それに対応した対策を進めていくこととなりますので、今しばらくお待ちいただければと思います。

（木澤主催事業主任指導員）
　ラウンジで学習している学生を見ていると、スマホを見ている学生がいますが、Wi-Fi が無いことでスマホをやりすぎないようになっている面もあります。
　また、子どもの居場所の問題について、現在、子ども企画課が所管している「子どもカフェ」をやりたいと、地域の方からお話が来ています。
　大森小学校で、子どもルームと放課後子ども教室を一体化させることで人員に余裕が生まれるため、新しい事業として、ここで「子どもカフェ」を行いたいとのことです。

白旗子どもルームの跡が空いているので有効に利用したいが、健全育成課が所管しており、話し合いになると思います。場所の活用も含めて、いい動きになればと思います。

（黒川会長）
今の時代、Wi-Fi の設置はそれほど困難ではなく、建物が古いというのは理由にならないと思います。Wi-Fi を建物全体に設置するのか、例えば１階部分だけに設置するのか、それには予算がどれくらい必要なのか具体的に議論するべきではないでしょうか。
学生を見ていますと、課題のつまずいた箇所をスマホで調べて、また、課題に取り組むというスマホの使い方をしており、これは、小中高と ICT 教育を受けてきており、ICT との付き合い方にも慣れているので、そうした利活用をしているのだと思います。
青少年の居場所づくりと Wi-Fi の設置を重点目標に盛り込むことはできるでしょうか。

（土肥所長）
持ち帰り、検討させていただきたい。

（黒川会長）
議題（２）につきましては、保留といたします。
後日、事務局から修正案を提示いただき、そのうえで承認するかどうか、という認識でよろしいでしょうか。

（事務局）
結構でございます。

（黒川会長）
続きまして、議題（３）につきまして、ご意見ご質問ございましたら、ご発言をお願いいたします。

（升川委員）
講座の募集定員１２人は、少人数で良かったと感じた子ども達もいるのではないでしょうか。主催者としては多いほうが、良いと思いますが、参加した子ども達にとっては充実していたのではないでしょうか。無理に募集定員を増やす必要はなく、この講座にはこのくらいの人数がちょうどいいといういのを見極めて、開催したらいかがでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）
おっしゃるとおりだと思います。
例えば、キッズ・イングリッシュはかつて２０名位で開催していましたが、今の人数に落ち着いてきました。講座にもよりますが、講師とも相談し、いたずらに定員を増やすのではなく、適正な人数で、対応したいと考えています。

（升川委員）
ありがとうございました。

（黒川会長）
小学生にとって、「ビー玉の迷路づくり」講座は、倍率が１０倍を超える人気があるので、「ヤクルトのデザートづくり」講座が減った分、「ビー玉の迷路づくり」講座を２回開催することは難しいのでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）
限られた時間内で作品を完成させる必要があるため、木を切ったりするなどの事前準備等もあり、２回の開催は難しい状況です。
今、増やそうと考えているのは、「千葉市を美しくする会」に「甲冑づくり講座」の講師を依頼することを検討しています。
出来た甲冑を身に着け、親子３代夏祭りに参加できたらいいなと考えています。

（黒川会長）
ありがとうございました。
他にご意見、ご質問はございますでしょうか。

（升川委員）
「わくわくカレッジ」に、来年から「千葉市の歴史散歩」の講座が増えるのはとてもいいなと思います。蘇我小学校区の今井町にお寺があり、その中に忠霊塔があります。戦争でお亡くなりになった方々のことを考えると、蘇我地区では平和教育に関する展開もできることと思います。子ども達も、おじいちゃん、おばあちゃんから戦争当時の話をだんだん聞かなくなって薄れていく危惧がありますので、ぜひ歴史講座の中に、平和教育という視点を入れていただければありがたいと思います。

（木澤主催事業主任指導員）
貴重なご意見ありがとうございます。
この企画も１年で終わらせるつもりはありませんので、今回いただいたご意見を踏まえ、いろいろな方面から考え、また、参考にさせていただきます。

（黒川会長）
他にご意見、ご質問はございますでしょうか。

（西田委員）
資料１１ページの重点目標の（１）⑧で、「みやこ図書館白旗分館との連携を強化し、複合施設としての利点が活かせるよう各種事業の工夫改善を図る。」とありますで、図書館と連携したイベントが何かあってもいいのではないでしょうか。

（木澤主催事業主任指導員）
現在、白旗分館は月に１回のお話会を、当センターの和室で開催しております。
以前は、当センターの主催講座を開催する時に、その講座内容に関係する書籍を図書館の方が用意して、紹介してくれていました。また、それを復活させたいと思います。他にも、ゆめチャレンジの時には、図書館で掲示板を利用した PR コーナーに参加してもらっていました。
貴重なご意見をいただき、今後、さまざまな可能性を探りたいと思います。

（西田委員）
ありがとうございました。

（黒川会長）
他にご意見、ご質問はございますでしょうか。
それでは皆様よろしいでしょうか。
令和５年度の事業計画（案）につきまして、承認いただける方は挙手をお願いいたします。

【全員一致で承認された。】

（４）その他
議事録の確定方法について、会長に確認のうえ、確定することを承認された。

（黒川会長）
以上、全ての審議事項について、終了いたしました。委員の皆様方におかれましては、ご審議、ご協力ありがとうございました。それでは、事務局にお返しさせていただきます。

（事務局）
令和５年度第１回の運営審議会は、令和５年７月中旬頃に開催予定であることを各委員へお知らせした。

7　保留とした議題（2）について

後日、事務局より修正案を提案し、出席委員全員の賛成により承認された。

【各員からのご意見】

（坂本委員）

子供たちのため、ぜひよろしくお願い致します。

（藤田委員）

審議会で出た意見を汲んだ修正案を作成していただきありがとうございました。

（升川委員）

施設の存続がはっきりしていない状況であると聞きました。そのような中ですが、可能な限り、利用者の安全を第一に、ニーズに合った運営がなされることを期待します。

（岩瀬委員）

平素よりお世話になっております。高校生の利用につきましては、センターの存在を知っている生徒が演劇関係や周辺地域在住者に限られているかと推察いたします。高校生の利用拡大を図るためには、市内の各高校へ幅広く周知することも必要かと存じますが、ご協力できることがございましたらご指示いただきたいと思います。引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

（根本委員）

貴センターがこれからも地域の子供たちにとって、より良い場所であるよう期待しています。

インターネット環境の改善については、全館整備ではなくスポットでも十分かと思うので、ぜひ早急にご対応いただけるとうれしいです。